提案タイトル	高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業

内閣府 近未来技術等社会実装事業

提案者	事業分野
愛知県春日井市	健康寿命の延伸、移動革命の実現、快適なインフラ・まちづくり、SIP等の活用

背景・課題

目指す将来像

- 自動運転車両、パーソナルモビリティ、バス・タクシー等既存交通機関、住民共助型システムによる移動支援など、新たなモビリティサービスと既存交通とのベストミックスを構築し、先進技術による快適なまち「高蔵寺ニューモビリティタウン」を実現。

解決すべき課題

- ニュータウンの高齢化率32%で増加傾向。さらに、坂道や起伏が多い地理的特性により、今後、高齢者等の外出機会が減少。
- ニュータウン内の基幹交通である路線バスの運行本数は、平成7年のピーク時と比較して約3/4にまで減少。住民アンケートにおけるバス運行本数や自宅からバス停までの距離（ラストマイル）についての満足度が低下。

2020年度までの事業内容

○事業：ニュータウン版MaaSの検証に基づく新しいモビリティサービスの社会実装

活用技術	事業概要
自動運転 MaaS	• 名古屋大学との共同研究により、高齢者の外出支援を目的としたタクシー事業者との連携による新サービス（ユニバーサル（介助）タクシー、乗合タクシー等）や住民共助による移動サービス、自動運転技術による近距離移動など、新たな移動手段に対する以下のような実証実験を推進 ➢ 既存交通事業者等と連携し、エリア、路線、時間帯等を限定したラストマイル型ゆっくり自動運転（レベル4）や、自宅から福祉施設等の中長距離モビリティサービス（レベル2、3） ➢ 統合により余剰施設となった旧小学校施設の跡地活用として、民間による生活利便施設の誘導に加え、バス停等モビリティステーションを設置 • 平成29年10月に設置された、春日井市高蔵寺ニュータウン先導的モビリティ検討会議（国立大学法人名古屋大学、愛知県、春日井市、国交省（オブザーバー）等）が参画

小型電動自動車

自動運転タクシー